

日本社会情報学会通信

Vol.23 No.1 2008.4.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

* 本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

会 長 挨拶

【平成 20 年度事業計画の方針と役員体制】

日本社会情報学会 会長 須藤 修

学会員の皆様、日ごろ日本社会情報学会（JASIS）の活動に活発なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、このたび私は、平成 19 年 9 月 8 日開催の総会におきまして、日本社会情報学会会長に選出されました。本年 4 月 1 日より会長に就任し、会員の皆さまのご参加とご支援をいただきまして、遠藤薫前会長のご努力を継承しつつ、本学会のさらなる発展のために微力ではありますが、力を尽くす所存です。

社会情報学会の使命は、情報や知識の重視される社会のあり方についてプロアクティブに考察し、より良い社会のビジョンを構想することであると考えます。コンピュータ・ネットワーク、モバイル、センサーネットワークなど情報通信テクノロジーの発展、その技術発展とイノベーション、テクノロジーと人間行動のあり方、そして社会変動の様態など、十分な分析と構想を必要とする事象はたくさんあります。皆様の英知を集め、相互に研鑽し、新たなネットワーク社会を構想したいと思えます。

また、社会情報学は、その本質上、学際的、分野横断的な性格をもったディシプリンです。このことを踏まえて、関連諸学協会はもとより、広く産官学民との協働を推進し、学術のフロンティアを開発し、オープンでフレキシブルな学会を実現したいと考えております。皆様の活発な学会活動を期待しております。

活発な学会活動を展開すべく、以下のような平成 20 年度事業計画を策定いたしました。皆様のいっそう積極的なご参加とご支援をお願いいたします。

<平成 20 年度事業計画>

1. 学術の水準を向上させ、かつ社会的諸問題解決に資する学会を目指す。

日本社会情報学会は、情報学の研究水準向上に貢献します。

日本社会情報学会は、産官学民の協働活動を推進します。

情報学の研究活動、政策提言活動を活性化すべく研究プロジェクトチームを組織します。

2. 幅広い学術的交流の推進

全国大会（JASIS・JSIS 合同大会を予定）を秋に東京大学で開催します。

年数回、学術的および社会的課題に関する特定のテーマにそった定例研究会を開催します。

年数回、情報政策に特化した情報政策研究会を開催します。

自由なテーマで組織された研究部会の例会を開催します。

地方支部の支部研究会を開催します。

他学会との協働によるオープンなシンポジウムを開催します。

3. 会員増加を図る広報活動の推進

4. 学会活動全般の活性化に資する方策についての会員の意見・提言の積極的な実現

評議員会を開催します。

常任委員会を開催します。

<平成 20 年度役員体制> (敬称略)

[会 長]	須藤 修	東京大学大学院情報学環・学際情報学府	教授
[副会長]	富山 慶典	群馬大学社会情報学部	教授
	廣松 毅	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部	教授
< 常任委員長 >	* 兼任		
・ 常任理事	前田 隆正		
・ 総務委員会	* 廣松 毅	・ 企画委員会	福田 豊
・ 学術委員会	田中 秀幸	・ 表彰委員会	島田 達巳
・ 事務局	和泉 恵子		
< 支部長 >			
・ 関西支部	小郷 直言		
・ 九州支部	河又 貴洋 (長崎県立大学)	副支部長	財部 忠夫
・ 中部支部	内山 哲治		
[監査人]			
	辻井 重男	情報セキュリティ大学院大学	学長
	刀川 眞	室蘭工業大学	教授
[理 事]	50 音順		
	安藤 明之	東京経済大学コミュニケーション学部	教授
	石田 亨	京都大学情報学研究科社会情報学専攻	教授
	和泉 潤	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部	教授
	今井 雄一	トッパン・フォームズ(株)	執行役員・企画本部長
	内山 哲治	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部	教授
	遠藤 薫	学習院大学法学部	教授
	太田 敏澄	電気通信大学大学院情報システム学研究科	教授
	岡田 勇	創価大学経営学部	准教授
	岡田 英樹	(株)NTT データ第一公共事業本部 e-コミュニティ事業部	事業部長
	尾関 敬二	自治・人財・情報研究所	代表
	木村 忠正	東京大学大学院総合文化研究科	准教授
	清原 慶子	三鷹市	市長
	熊田 禎宣	千葉商科大学政策情報学部	教授
	小郷 直言	大阪大学大学院経済学研究科	准教授
	五藤 寿樹	日本橋学館大学人文経営学部	教授
	後藤 玲子	茨城大学人文学部	准教授
	小林 宏一	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科	教授
	小向 鋭一	東洋オフィスメーション(株)	常務取締役
	桜井 成一郎	明治学院大学法科大学院	教授
	佐藤 佳弘	(株)情報文化総合研究所	代表取締役所長
	真田 英彦	追手門学院大学経営学部	教授
	篠原 健	追手門学院大学経営学部	教授
	島田 達巳	摂南大学経営情報学部	学部長・教授
	小豆川 裕子	(株)NTT データ 技術開発本部システム科学研究所	主幹研究員
	財部 忠夫	中村学園大学流通科学部	教授
	田中 秀幸	東京大学大学院情報学環・学際情報学府	准教授
	寺野 隆雄	東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻	教授
	中井 豊	芝浦工業大学システム工学部	教授
	根本 敏則	一橋大学大学院商学研究科	教授
	平野 浩	学習院大学法学部政治学科	教授
	平林 幹朗	キャリア・アップ企画	代表
	福田 豊	電気通信大学人間コミュニケーション学科	教授
	前田 隆正	NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構	理事
	山本 佳世子	電気通信大学大学院情報システム学研究科	准教授
	山森 俊彦	エヌ・ティ・ティ・データクリエイション(株)	代表取締役社長

<地域情報化研究プロジェクトチーム> (会長直属)

前田隆正 (NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構)

吉田 稔 (西宮市)

尾関敬二 (自治・人財・情報研究所)

富山慶典 (群馬大学)

野田哲夫 (島根大学)

林 隆史 (会津大学)

佐藤哲也 (静岡大学)

根本敏則 (一橋大学)

ほか

第 23 回全国大会研究発表募集のお知らせ

学術委員長 田中 秀幸

第 23 回全国大会については、現在検討が進められているところですが、現在の予定に基づき、研究発表を下記の要領により募集いたします。

研究発表は、1 件につき約 30 分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子自治体・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第 23 回全国大会におきます研究発表につきましては、9 月に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第 10 回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第 9 回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日時： 2008年9月12日(金),13日(土),14日(日)(予定)

会場： 東京大学本郷キャンパス〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

案内：大会ウェブサイトは、立ち上げ次第、学会HPにリンクを貼ります。

発表申込締切： 2008年5月23日(金)(予定)注

論文集原稿締切： 2008年6月30日(月)(予定)注

大会事務局： 第 23 回全国大会事務局

(東京大学大学院情報学環須藤修研究室内)

[注]発表申込締切、論文集原稿締切日については、確定次第、大会ウェブサイトに掲載しますので、ご確認ください。

(1) 発表申込要領

1. 申し込み (e-mail のみ)

申込書ダウンロードサイト：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/> (学会 HP)

申込書送付先： 2008jasi@iii.u-tokyo.ac.jp

【問合せ先】TEL 03-5841-5928 (東京大学大学院情報学環須藤修研究室内大会事務局)

E-mail: 2008jasi@iii.i-tokyo.ac.jp

2. 研究発表プログラム委員会による検討の後、発表の採否結果をお知らせいたします。なお、必着期限を過ぎた申し込みは、準備の都合上検討対象から除外させていただきますのでご了承ください。

(2) 研究発表論文原稿執筆要領 (予定) 注

(a) 原稿作成について

1. A4 版、4 ページで図表を含みます (4 ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください)。マージンは上端 25mm、下端および左右 20mm で作成してください。版組みなどは自由です。
2. 送付された原稿は B5 版に縮小し、写真製版します。
3. 原稿の 1 ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100 語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に 印を付して下さい。

(b) 原稿の送付について

1. 必着期限(6 月 30 日予定)を過ぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 原稿の電子ファイル(PDF ファイルに限る)を下記電子メールアドレスへお送りください。
原稿送付先電子メールアドレス: 2008jasi@iii.u-tokyo.ac.jp
3. 研究発表論文集に掲載された論文の著作権は、日本社会情報学会(JASI)に帰属するものとしてします。

【注】執筆要領については、確定次第、大会ウェブサイトに掲載しますので、ご確認ください。

*** 5月23日(金) 必着予定**

日本社会情報学会
第23回全国大会研究発表申込書

発表申込者連絡先

会 員 名		
所 属		
住 所	(勤務先・自宅) 〒	
連 絡 先	TEL	FAX
	e-mail	

論題・発表者・発表用機器

論 題		
ふりがな 発表者氏名(所属) *当日の発表者に を付す	1	2
	3	4
使用機器(機器を使用する場合いずれかに を付す) 1. 液晶プロジェクタ(パソコン, 同付属のコネクタはご持参下さい) 2. その他(上記以外の機器をご使用希望の場合には, 大会事務局にご相談下さい)		

要 旨 (200字以内)

*キーワード(5つ程度、必ず記入)

日本社会情報学会(JASI) 第23回全国大会(JASI・JSIS 合同大会)開催について

第23回全国大会の検討が進められています。

4月に開催される理事会の報告の後に、学会HPでアナウンスする予定です。

会員の皆様方におかれましては、学会HPでご確認いただきますようお願い申し上げます。

第23回全国大会(予定)

- 【主催】 日本社会情報学会(JASI)
日本社会情報学会(JSIS)
- 【開催期日】 2008年9月12日(金)～14日(日)
・JASI 会員総会
- 【会場】 東京大学 本郷キャンパス
- 【テーマ】 (検討中)

☆ 理事会報告 ☆

【第10回理事会報告】

日時 平成20年2月18日（月）18:00-19:10

会場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席 7名（順不同）遠藤、須藤、根本、前田、五藤、平野、和泉

議事

- 1 委員会報告
- 2 全国大会について
- 3 次年度体制について
- 4 会員総会について
- 5 その他

議事内容

- 1 資料にもとづき、前回議事録を承認した。
- 2 資料にもとづき、五藤理事より学術委員会報告があった。今後の英文学会誌について、国内外からの招待論文掲載、国内外からの投稿などを含めた意見交換があった。
- 3 資料にもとづき、企画委員会報告があった。
- 4 資料にもとづき、会員内訳、2月18日付収支報告があった。
- 5 資料にもとづき、入会4名、退会名を承認した。退会1名については、五藤理事より連絡をすることとした。
- 6 資料にもとづき、須藤理事より平成20年度役員体制について説明があり、総務、企画、学術、表彰の各委員会、3支部に加え、会長直属の地域情報化研究プロジェクトを承認した。
資料にもとづき、合同研究大会の組織体制、合同大会事務局と合同企画委員会について報告があった。
- 7 遠藤会長より、合同研究大会大会要綱案について報告があった。
日程 ①案9月12-14日 ②案9月19-21日 ③9月6日-8日
会場 東京大学
統一テーマ案 「アーカイブする/される社会」
参加方法、参加費については従来どおり、4月1日発刊学会通信で告知
- 8 資料にもとづき、6月21日（土）会員総会、終了後に情報通信月間（第112回定例研究会）を開催、申請することが報告された。

次回は平成20年度第1回理事会 4月19日（土）東京大学にて開催予定

研究会報告

[第 52 回情報政策研究会]

日 時 平成 19 年 12 月 3 日 (月) 15:00 ~ 17:00
会 場 中央大学駿河台記念館 560 号室
テーマ 『地域情報化の現状と課題』
講演者 総務省情報通信政策局地域通信振興課
課長 安藤英作氏

[第 109 回定例研究会]

担 当 部会 (主査 遠藤 薫)
日 時 2007 年 12 月 15 日 (土) 10:30 ~ 17:00
会 場 学習院大学
テーマ インターネット調査の課題と可能性
「インターネット調査回答者の特性」
厚生労働省 情報公開文書室長兼東京大学社会科学研究所准教授 本多則恵
「社会統計調査の歴史的現在」
㈱日経リサーチ 取締役 鈴木督久様
「社会調査・世論調査にインターネットをどう活用するか」
ネットレイティングス㈱ 代表取締役社長 萩原 雅之

[第 110 回定例研究会]

担 当 環境・教育・GIS研究部会 (主査 太田敏澄)
日 時 2008 年 1 月 25 日 (金) 10:30 ~ 17:00
会 場 電気通信大学情報システム学研究科棟 2 F 233 (大会議室) , 中会議室
テーマ 第 14 回社会情報システム学シンポジウム
特別講演 「内発的な経済発展に向けての地域情報化」
田中秀幸 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府准教授)

[第 111 回定例研究会]

担 当 企画委員会 (税所委員)
日 時 2008 年 2 月 16 日 (土)
会 場 中央大学駿河台記念館
テーマ 「タイムビジネスの現状と展望」
基調講演 須藤修 (東京大学大学院情報学環教授)
「タイムビジネスの現況」 NTT データ経営研究所パートナー 情報戦略コンサルティング本部長
三谷慶一郎 (タイムビジネス協議会企画運営部会長)
「知的財産におけるタイムスタンプの活用」 - ノウハウの戦略的防衛のために -
アマノタイムビジネス代表取締役社長 内藤隆光 (タイムビジネス協議会副会長)
「学術コンテンツ流通におけるタイムスタンプの活用」 国立情報学研究所准教授 山地一禎

委員会報告

[学術委員会]

第9回学術委員会

<日時> 平成19年12月5日(水) 19:00~19:30

<会場> 東京大学本郷キャンパス情報学環6階会議室

<出席者> 廣松毅(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、田中秀幸(東大)、遠藤薫(学習院大)、木村忠正(東大)、桜井成一郎(明治学院)、刀川眞(室蘭工大)、小林宏一(早大)、安藤明之(東経大)、五藤寿樹(日本橋大)、中井豊(芝浦工大)、岡田勇(創価大)[敬称略] (文責:田中)

<議事>

1. 前回議事録の承認
2. 不正論文に関する検討専門委員会について
3. 全国大会について
4. 大学院生発表会について
5. 学会ホームページについて
6. その他

英文誌の編集について

次回は、1月28日(水) 19:00~、場所は未定(原則、東大駒場キャンパス)。

第10回学術委員会

<日時> 平成20年1月28日(水) 18:30~19:00

<会場> 東京大学駒場キャンパス2号館

<出席者> 廣松毅(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、田中秀幸(東大)、遠藤薫(学習院大)、木村忠正(東大)、桜井成一郎(明治学院)、五藤寿樹(日本橋大)、岡田勇(創価大)[敬称略] (文責:田中)

<議事>

1. 前回議事録の承認
2. 不正論文に関する検討専門委員会について
3. 全国大会について
4. その他

次回は、3月19日(水) 17:00~、東大駒場キャンパス2号館306号室

2008年2月19日

会 員 各 位

論文検討専門委員会
委員長 五藤寿樹

二重投稿論文に関する措置について

下記の論文を当委員会で調査検討した結果、二重投稿であると結論されました。この結果を理事会にはかり、当該論文を学会誌から削除するとともに、当該論文が受賞した、平成13年度論文奨励賞を取り消すことにしました。

恐れ入りますが、上記事由により下記論文を日本社会情報学会学会誌より会員各位により削除いただきたくお願い申し上げます。

記

該当論文

日本社会情報学会誌 No.11 pp. 98-106

タイトル：「情報化による会計ディスクロージャーの変容」

以 上

平成20年度・学会賞候補推薦について

平成20年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 島田 達巳

< 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	20年4月11日(金)
優秀文献賞	20年5月23日(金)
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	20年6月20日(金)
社会情報システム貢献賞	同 上
* 「秋山穰賞」	

* 「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

[功労選考委員会]

選考区分：
・学会功労賞
・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

選考区分：
・優秀文献賞
・優秀論文賞
・論文奨励賞
・大学院学位論文賞
・研究発表賞

各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

平成19年12月1日
* 19/12/1発行学会通信の再掲

日本社会情報学会

第11回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 須藤 修

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成19年4月1日～平成20年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきまして表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

(1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)

(2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

(3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

1. 受付期限 平成20年4月11日(金)* 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成 年 月 日

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名] _____
大学 _____ 研究科
専攻

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成20年4月1日

日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3) 優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。

なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、平成19年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 **平成20年5月23日(金)必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 須藤 修
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通。(論文の抜き刷りないしコピーで結構です)
5. 推薦者資格 本学会正会員。

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 巻 , 第 _____ 号 , _____ ~ _____ ページ
[推薦事由] _____

受付 : 平成 年 月 日

受付者氏名 :

平成 年 月 日

日本社会情報学会
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 巻，第 _____ 号， _____ ~ _____ ページ
[推薦事由] _____

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成20年4月1日

日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(2)優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、平成19年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 **平成20年5月23日(金)必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 須藤 修
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一文献
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦文献名] _____
出版社等名称 : _____
発行年月日 : _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い [学会功労賞][社会情報システム貢献賞]

平成20年4月1日

日本社会情報学会表彰委員会
功労選考委員会

下記により、日本社会情報学会の平成20年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 **平成20年6月20日(金)必着**
2. 推薦先 **日本社会情報学会 会長 須藤 修**
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞
本学会の発展に著しく功労のあった者。
- (2) 社会情報システム貢献賞
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体。

表 彰 候 補 推 薦 書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則により表彰の候補を推薦致します。

[推薦者]

(ふりがな) 氏 名	
連絡先住所	〒 TEL () FAX () E-mail :

記

[推薦候補者または推薦候補団体の名称] * 多人数の場合は、その代表者名。

[表彰区分] * 該当区分の に√を付す。

学会功労賞

社会情報システム貢献賞

[表彰対象事項]

[表彰事由]

< 添付資料 >

受付： 年 月 日

受付者氏名：

第14回社会情報システム学シンポジウム開催報告

環境・教育・GIS研究部会 主査 太田敏澄（電気通信大学）
幹事 諏訪博彦（電気通信大学）

日本社会情報学会（JASI）「環境・教育・GIS」研究部会では、第14回社会情報システム学シンポジウム（第110回定例研究会）を、社会情報システム学研究会の主催、経営情報学会（JASMIN）「社会情報と情報ネットワーク」研究部会、電気通信大学 Social Informatics（社会情報学）研究ステーションとの共催にて、2008年1月25日（金）に電気通信大学情報システム学研究科棟にて開催致しました。

このシンポジウムは、ユビキタス時代の社会情報システムのシナリオを描くべく、人文・社会科学的情報概念と自然科学的情報概念の統合を企図し、高度でかつ幅広い議論ができますことを願って開催致しております。お陰様をもちまして、75名の方々のご参加を戴き、盛会のうちに開催することができましたことに、深く感謝致しております。

来年同時期には、第15回のシンポジウムを企画する予定に致しておりますので、ご研究発表をはじめ、ご関心のある多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

第14回のシンポジウムでは、特別講演として、「内発的な経済発展に向けての地域情報化」（田中秀幸氏、東京大学大学院准教授）のご講演を戴きました。

このご講演は、情報通信技術により組織やビジネスプロセスを変革してゆくという co-invention の必要性につき、情報通信技術と企業業績向上との関連性についての論理的な実証分析結果に基づく論考や、電子自治体の内発的発展の議論への展開についての貴重なご講演であり、今後この領域の研究を展開する上で大変有意義なご講演でありました。

さらに、公募による一般セッション講演では、21件のご研究発表がありました。一般セッションでのご講演は、

- [1] 環境 [2] システムの統制 [3] 数理モデルとシミュレーション
[4] 社会システムと価値 [5] システム設計 [6] ITと人材育成
[7] IT社会と産業 [8] 社会ネットワークと予測
の8つのセッションにより行われました。

いずれのご講演も、時代の要請にもとづいた実践的、概念的ないし操作的なご研究の成果を披瀝して戴いたご講演であり、この領域の研究がますます盛んになることを確信することができました。

なお、一般セッションでのご講演の題目につきましては、社会情報システム学研究会のホームページ <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/> に、これまでの回のご講演題目を含めて掲載致しておりますので、ご覧戴けますよう宜しくお願い致します。また、学術講演論文集に掲載された論文の和文概要は、科学技術振興機構のデータベース（JDreamのJSTPlus）に登録しておりますので、ご参照下さい。

また、学術講演論文集に余裕がございますので、ご希望の方に、実費 ¥1,000 にて頒布致します。お申し込みは、第13回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集購入ご希望の旨、ご送付先住所、お名前、telまたはfax番号を添え、e-mail: ohta@is.uec.ac.jp または fax: 042-443-5660 太田敏澄宛に、お願い致します。代金につきましては、郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会宛に、学術講演論文集到着後、お振り込み下さいませよう宜しくお願い致します。

部数に限りがございますので、先着順にてご容赦下さい。

< お問い合わせ先 > 社会情報システム学研究会事務局 研究会代表 太田敏澄
FAX&TEL: 042-443-5660, e-mail: ohta@is.uec.ac.jp
電気通信大学 大学院情報システム学研究科
社会知能情報学専攻社会情報システム学講座
URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/>

事務局だより

* 会費納入のお願い

過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

未納会費請求につきましては、現在、年4回の請求（10月、12月、4月、8月）をさせていただいておりますが、未納の場合、会員規則第4条に従いまして、1年未納の場合会員サービス停止、2年未納の場合は除名となる場合があります。主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

* 通信費削減への協力のお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて戴いておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。ご承諾戴ける会員の方は、別紙「メール案内承諾書」にてご返信のほどお願い致します。

平成17年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週2日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp